

平成26年度 事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 多摩胃ろうネットワーク

1 在宅(往診)胃ろう交換;の取り組み

平成24年度より多摩胃ろうネットワークでも一部の医師によりペグスコープを用いた往診による在宅での胃ろう交換の試行を開始した。平成25年度は3医師が参加し年間交換件数327件(33+102+192)であった。在宅での胃ろう交換が可能となることで、交換のために医療機関を受診するという患者の身体的・時間的負担及び介護者・家族の人的負担や移動費用、及び医療機関のマンパワーなど多くの負担軽減につながる事が示唆されている。今年度は医師間の意見交換などにより在宅での胃ろう交換実施施設がクリニックレベルで2施設増え前年度より継続施設では実施件数が増加している。(参加医師が5増えた5名に増加。下記事業実績表参照)今後は、より一層、安全な在宅での胃ろう交換の推進を目指す。

2.市民公開講座等のセミナー開催

多摩地区において摂食嚥下障害とその評価・対策に関する市民公開講座を開催した
一般市民対象の市民公開講座を開催しエリア内に胃ろうの知識とケア能力の向上、摂食栄養管理の質の向上を図った。

3. 摂食嚥下班会議の実施

「嚥下評価から経口摂取まで」患者及び家族の支援体制の基盤構築に繋げている。

問題事例の共有・セミナー開催の検討・スマートホンアプリケーション開発に向けた意見交換・栄養剤の勉強会、などにより、参加者個人のスキルアップおよび在宅療養者とその家族の支援体制・関係者間の情報共有を初めとした地域内の多職種連携につなげた。

4. 「ホームページ活用による情報共有と在宅チームの連絡支援を目指した」スマートホンのアプリケーション開発について実行委員会を立ち上げ協議し次年度運用を目指す。

5. 「地域連携パス会議」においては関係者間での情報交換や賛助会員からの新しい栄養剤等の情報提供や意見交換の場となり、相談窓口への相談内容の共有の場となり会員間の連携強化を図る。

尚、[実績については、5月総会承認に合わせてホームページ上で公開する]

1. 理事会議事録はホームページに随時掲載中

2. 摂食嚥下班会議の議事録はホームページに随時掲載中

3. 市民公開講座等のセミナー開催案内・実施結果についてはホームページに随時掲載中

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
胃ろう造設と管理に関する事業	在宅胃ろう交換	年度を通して、参加施設において実績を増やした	参加施設	1. 厚生荘病院 2. 新天本病院(あいクリニック) 3. 日医大多摩永山病院 4. こすぎ駅前クリニック 5. 愛全診療所 6. 数井クリニック 計6施設	0 13名98回 1(クリニックにつないだ) 9名45回 10名106回 19名107回 合計52名357回	
摂食嚥下に関する事業	摂食嚥下評価に関するセミナー開催 -市民公開講座-	嚥下内視鏡(VE)ハンズオンセミナー-嚥下内視鏡の基礎と実際の手技-講師 鶴岡協立リハビリテーション病院リハビリテーション科 科長 福村直毅 先生前半:嚥下内視鏡の基礎(座学)後半:嚥下内視鏡の実演(ハンズオン)	平成26年11月29日(土)13時30分~16時30分 場所: Winプラザ多摩センター	19人 アンケート結果はホームページ掲載	歯科医師・医師・看護師・薬剤師など	0
		「在宅施設におけるエレンタールの使用経験について」宮本昌之 理事・「誤嚥性肺炎の予防」昭和伊南総合病院 消化器病センター センター長 堀内朗 先生~嚥下内視鏡検査、胃ろう、エレンタールの利用法~	6月21日会場 聖蹟桜ヶ丘 関戸公民館 ヴィータホール 8階大会議室	アンケート結果はホームページ掲載	40人 医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・ヘルパー・歯科衛生士・栄養士・STなど	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
地域連携に関する事業	スマートホンのアプリケーションシステム開発に関する意見交換	摂食嚥下班会議において約3ヵ月毎	新天本病院会議室	10人-16人	100人 医師・看護師・薬剤師・ケアマネージャー・ヘルパー・歯科衛生士・栄養士・ST	
	ホームページ活用による情報発信・啓蒙・啓発	随時ホームページ掲載	WEB上	アクセス数 3305/年	市民	
摂食嚥下に関する事業	摂食嚥下障害や胃ろう造設に伴い栄養剤が症状に応じて注入されているが、下痢や便秘など商品の改良・改善策などメーカーとの共同開発を検討する。	摂食嚥下班会議において約3ヵ月毎	新天本病院会議室	10人-16人 ホームページに議事録掲載	参加施設利用者100人以上 医師・看護師・薬剤師・ケアマネージャー・ヘルパー・歯科衛生士・栄養士・ST	0 0
	摂食嚥下障害や胃ろう造設に伴う栄養剤使用に関する意見交換及び困難事例の検討					
	栄養剤メーカーのサンプリングやニーズ調査受託					

□